

事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）		事業計画期間	平成18年度～平成22年度
事業実施地区名 (都道府県名)	香川森林計画区 (かがわ) (香川県)		事業実施主体	四国森林管理局 香川森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>本事業は、香川森林計画区の国有林野7,530haのうち集落周辺の国有林野1,494haを対象としている。</p> <p>当地域では、水土保全、自然環境の保全など国有林に対する要請に応えつつ、集落周辺国有林の森林資源の造成など適切な森林整備を行うことにより、山村地域の居住環境の改善や都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容 森林整備 更新面積 5(ha) 保育面積 54(ha)</p>			
費用対効果分析	総費用(C)	16,922千円		
	総便益(B)	水源かん養便益	33,294千円	
		山地保全便益	13,515千円	
		環境保全便益	2,965千円	
		木材生産便益	4,006千円	
		森林整備経費縮減等便益	0千円	
		計	53,780千円	
	分析結果(B/C)	3.18		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 水土保全、自然環境の保全など公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、水源地の状況など地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 森林整備に当たっては、植栽本数の減、保育の省力化など低コスト化に取り組むこととしており、十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>			